

地域貢献への取り組み

【 地域経済、地域社会の持続的発展を目指して 】

宮城県内5信用金庫の「SDG s 共同宣言」

宮城県内5信用金庫で「SDGs共同宣言」を公表し、「経済」「社会」「環境」の分野で宮城県内5信用金庫が連携し、「SDGs」に取り組んでおります。

宣 言

宮城県内の5金庫は、SDGsの目指す理念に賛同し地域社会の一員として各金庫の経営理念および地域特性を踏まえながら宮城県の地域経済の持続的発展に向け連携して取り組むことを宣言します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



日本カーシェアリング協会による「カーシェアリング」活動への協力

日本カーシェアリング協会は、東日本大震災により被災した地域の復興のために石巻市で設立した非営利組織であり、寄付車を活用した共助の社会づくりを目指して活動しています。

当金庫は、地域の課題解決および持続可能な社会の実現に向けた当協会の活動に対して継続的に協力しており、令和5年10月には社用車の入れ替えを機に、軽自動車3台を当協会に寄贈いたしました。



一般社団法人フードバンクいしのまきによる「フードドライブ」活動への協力

食品ロス削減や地域の貧困世帯支援の活動を目的とした団体である「一般社団法人フードバンクいしのまき」による、食品寄付活動（フードドライブ）に対し、令和5年11月に各営業店に回収BOXを設置し家庭で余った食材の寄付活動に協力いたしました。また、令和5年12月には、当法人への活動支援として、カップ麺1,000食を寄付しております。



【産・学・官・金の連携】

● 販路拡大支援事業

全国のビジネスフェア・商談会への出展サポートや物産イベントへの企業紹介、ビジネスマッチングの仲介など、様々な販路拡大支援を行っております。

第18回 ビジネスマッチ東北2023

令和5年11月8日(水)、夢メッセみやぎで開催いたしました。ビジネスチャンス創出のプラットフォームの場として出展数412ブース、498の企業・団体が出展、総来場者数は6,072名と東北最大級のビジネスフェアとなりました。



城南信用金庫 2023 “よい仕事おこし” フェア

令和5年11月21日(火)、22日(水)の2日間にわたり、東京ビッグサイトで開催いたしました。北は北海道、南は沖縄県まで全国各地の信用金庫が協賛し、出展数482ブース、523の企業・団体が出展しました。総来場者数3万人を超える大規模なビジネスフェアとなりました。



東京東信用金庫 ひがしんビジネスフェア2023

令和5年11月17日(金)に両国国技館で開催いたしました。本フェアは今回で23回目を迎え“つなぐ・つながる・つなげる「つなぐ力」で未来を創る”をテーマに、157の企業が出展いたしました。



● 石巻専修大学との連携事業

令和4年度IS研究発表会・令和5年度IS奨学金贈呈

当金庫では、平成7年より「石巻専修大学IS奨学金」として研究費を贈呈しており、令和5年11月28日(火)に令和4年度IS研究発表会と令和5年度IS奨学金の贈呈式を行いました。研究内容は地域産業に関連したものなど、大変興味深い内容となっております。

研究発表内容

- ・水道コンセッションをめぐる政策決定過程と住民の理解度に関する調査
- ・地元特産品の知名度を向上させるための方策に関する研究
- ・石巻市の観光モデルコースを対象とした視線計測による実証的調査



【 地域を担う人材育成への取り組み 】

「しんきんマネースクール」実施

子供たちに「金融機関」と「お金の大切さ」を知ってもらい、教育を通じて地域社会へ貢献することを目的として、地域の学生向けにマネースクールを開催しております。

令和5年度は、10月26日(木)に石巻市立稲井小学校の5年生児童58名を対象に「しんきんマネースクール」を開催いたしました。



「子供たちによる絵画展覧会」実施

「子供たちによる絵画展覧会」を、総合相談センター(絆プラザ)1階ロビーにて開催し、令和5年6月12日(月)から8月18日(金)の期間で134名の地域の子供たちの絵画を展示いたしました。

作品はフリーテーマとし、子供たちが自由な発想で絵を描くことを楽しみ、心豊かでたくましく成長することを願い開催しております。家族や季節の花など、どれも愛らしい作品が並びました。



「信用金庫の日」の活動

信用金庫法が1951(昭和26)年6月15日に公布・施行されたことちなみ、毎年6月15日を「信用金庫の日」と定めております。「信用金庫の日」には全国の信用金庫が信用金庫についての理解を一層深めて頂くためのさまざまな活動を実施しております。

令和5年度は、令和5年6月1日(木)から6月30日(金)にかけて信用金庫業界としてオープン懸賞を実施し、懸賞への応募数に応じた金額の寄付を行いました。寄付先は公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟の「災害子ども教育支援募金」となっており、「返済不要の奨学金支援」と「学校への支援」を柱として、災害発生時に被災地の教育復興を支える資金として活用されます。